

2021年総選挙闘争推進 NEWS

全労連総選挙闘争本部 2021年10月7日 No.4

いよいよ総選挙! 10月19日公示、31日投開票

投票に行ったら私たちの要求を実現しよう!

岸田政権が10月4日発足したのも束の間、10月19日公示、31日投開票で衆議院議員選挙がたたかわれます。「話をよく聞く」と言っていた岸田首相ですが、野党や国民の声を聞かず、ボロが出る前にと急いだ判断です。私たちの切実な要求を実現するため、必ず投票に行き、市民と野党の新しい政治へと転換させるため、職場・地域でがんばっていきましょう。

●広島 国民大運動実行委員会

10・4 国会開会日 「選挙に行こう」「政治を変えよう」とアピール

23人が参加し、8人がリレースピーチ



岸田文雄自民党総裁は10月4日、国会による首相指名を受け、自民・公明両党連立による岸田内閣を発足させました。「軍事費を削って暮らしと福祉・教育の充実を」国民大運動広島県実行

委員会は4日昼休み、岸田首相の選挙区の広島1区の本通電停前に23人が集まり、「選挙に行こう」「政治を変えよう」の全労連のぼりやプラスターを掲げ、8人がリレートークを行い、投票行動を呼びかけました。

広島県労連女性センターの煙崎久美子さんは、「コロナ禍で、非正規労働者が多い女性労働者は真っ先に切り捨てられています。子育て、特にシングルマザーは大変で、子どもに食事を満足に与えられない家庭もあります。ステイホームが強いられる中でDV被害が急増し、仕事が奪われ、女性の自殺者も増加、生理の貧困など、女性に深刻な打撃を与えています。目の前で、人がおぼれていても助けようと船も出さない今の政権ではダメです。私は、一人ひとりが大事にされる政治を望んでいます」と訴えました。

郵政ユニオンの箕島雪弥さんは、「選挙権年齢は18歳になり有権者は増えているのに、その権利を使わない人がなんと多いことか。そんな時は、5歳の女の子にも言われるでしょう。『ぼーっと無関心じゃねーよ』って。選挙は、投票率が低ければ低いほど、時の勢力には有利になります。コロナ対策に使わず、巨大開発に私たちの税金

を湯水のように使う勢力に、お灸をすえることを忘れてはいけません。今度の選挙は私たちの未来を形作っていく選挙です。投票に行きましょう」と呼びかけました。

広島県原水協の古田文和さんは、「岸田文雄さんは、2017年国連で核兵器禁止条約が成立した時、外務大臣でこの条約に一貫して背を向けてきました。2014年に長崎で軍縮不拡散イニシアティブという外相の会合があった時、岸田さんは『極限状況においては、核兵器の使用は認められる』と講演で発言しました。いまだにこの発言は撤回をされていません。このような人が広島選出で総理大臣になっています。選挙に行ってもこのような政権を1日でも早く倒しましょう」と訴えました。

建交労広島県本部の山田昭夫さんは、「いま、日本は先進国の中で賃金が最低レベルの国になっています。これまでの安倍・菅政権9年間の間に、大企業、一部の富裕層のみ富を増やしましたが、労働者の賃金は減り続けました。政権交代をして、新しい政権の下で、労働者の賃金を大幅に上げることを実現しましょう。これこそがいのちと暮らしを守る道です。選挙に行っても政治を変えましょう」と呼びかけました。

(国民大運動広島県実行委員会・選挙特集号「選挙に行っても政治を変えよう！」より抜粋)

●山形県労連

山形1区、2区野党統一候補者と県労連が政策合意



山形県労連は、9月27日に衆議院山形1区野党統一候補者の原田まさひろ氏（立民・写真）、9月30日に山形2区に加藤けんいち氏（国民）との間で政策合意を確認しました。

原田氏は、「憲法にしばられる方が憲法を破っている。私はアベノミクスだけではなく、憲法がかつてない危機に直面している状況を打開しなければならないと考えている。政策には合意できる。皆様のご支援をお願いしたい」と話しました。

加藤氏は、「多くの方が様々な格差、困難に向き合っている。弱い立場の人ほど悲しみや苦しみが大きく、生きにくい。自民総裁選ではトップが代わっただけで中身は変わっていない。将来を託せない。しっかりたたかうので、多くの皆様のご支持・ご協力をお願いしたい」と話しました。

●愛知 北医療生協労組

ゴー選挙、チェンジ政権 シールアンケートで対話

9月27日夕刻、北医療生協労組は、総選挙について、組合員とシールアンケートで対話活動を行いました。29人との対話では、選挙に行くが23人。「わたしの願い変えたい項目」では、新型コロナ感染対策15、医療介護年金の改善14、保育・教育の充実13、医療介護労働者の増員9、ジェンダー平等7、最低賃金1500円8人でした。

愛労連の組合員でも民間・公務を問わず、選挙に行かない人が多くいます。「私が投票したってどうせ変わらないと思込込されていることに、どうか気づいて」（愛知県

医労連書記長の矢野さんのツイッター)。

選挙に行こう、政治を変えて要求を前進させよう！のアピールを単産・地域が旺盛に行いましょう。

(愛労連 NEWS より)



●「選挙に行こう!」宣伝資材が次々に出来上がります! ご活用ください!

全労連は、以下の宣伝資材を作成中です。ホームページの「総選挙のページ」に10月7日夕方頃に掲載しますので、ダウンロードして活用してください。

- * 「選挙に行こう」ビラ版下(青年向けリーフ VOTE 改訂版 A4 両面4つ折り)
- * プラスター版下
- * 横断幕版下
- * 「選挙に行って政権交代」ビラ版下 2種